

令和2年度 児童発達支援自己評価表

項目	質問内容	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		教室前と入り口に段差解消スロープを設定した。 療育後の日々の清掃と週1回・月1回の清掃・安全確認等を実施し、清潔で安全な環境維持を心掛けている。
	② 職員の配置は適切であるか	4		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		保護者アンケート・自己評価は、今年度よりハッピーテラスのHPに公開し、保護者の意向や満足度の把握に努めている。 年に数回ハッピーテラス本部から、運営状態の確認・アドバイスをもらっている。 また外部研修の他、月に一回以上内部勉強会の機会を設け、日々研鑽に努めている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		子ども本人の発達等の状況や保護者の意向を適切に把握し、個別に合わせた計画の作成に努めている。 また支援計画に基づいて、プログラムや具体的な支援内容についてチームで検討し実施している。その際には、その時期の保育園・幼稚園等の行事や季節なども考慮し、固定化しないよう配慮している。 記録については、日々の個別支援日誌と全体の業務日誌を作成し、次回支援の前に必ず確認し反映・活用している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	4		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		区のネットワーク会議に参加し、幼児期以降の支援の体制や区の状況などの把握・情報共有に努めている。 ペアレントトレーニングは実施していないが、毎回の振り返りの中で、お子様への声掛けや関わりについての助言をさせていただいている。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		
	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校(初等部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		
	㉕ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		
	㉖ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		
	㉗ 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	4		
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	3	1	
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		契約の際に、丁寧に説明するよう努めている。 療育後の振り返りの際に、その日の療育の様子と共に家庭や園での様子などを聞くように心がけ、子育ての悩みについて相談にのるよう努めている。また、その際相談内容が聞こえないよう振り返り場所に配慮している。 定期的な会報の発行はしていないが、必要に応じて書面での情報共有を行っている。
	㉛ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4		
	㉜ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		
	㉝ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		
	㉞ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	
	㉟ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		
	㊱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		
	㊲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		
	㊳ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		
非常時の対応	㊴ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4		各種マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるよう設置している。 アクシデント・ヒヤリハット報告は、非常勤職員も必ず確認し、再発防止に努めている。
	㊵ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		
	㊶ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4		
	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	
	㊸ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		
	㊹ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	
㊺ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			